伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファクシンダス街一九六
電話七一四六七〇
購讀料（一ヶ年 六十錢 半ヶ年 三十錢）

珈琲 サントス四番 十キロ 二八八〇〇 ロンドン七番 二一六〇〇
爲替 對日 四、六〇〇 郵便送金 五、五七〇 對米 一九、七三〇 對英 七九、八九〇

Snr. H. Koda 米田參也寫眞館 サンパウロ市

# ロビンムーア號擊沈報復手段
# 米・獨伊の資金凍結斷行
## 十四日附 米政府當局から發表

【東京十六日發】米當局は、ロビンムーア號擊沈の報復手段として、獨伊の在米資金を凍結する旨、十四日附を以つて發表した、これで二十一ヶ國の資金を凍結した事になる

【ワシントン十六日發】（UP電）米政府筋では、獨伊兩國は約四億ドルに上る資金を米國内に蓄積してゐると云つてゐるが、獨伊兩國資金凍結命に就き次の如く發表した

獨伊資金凍結の目的は、米國の國防と利益と財政的機能の阻害を目的とし、又壓迫や征服の手段で獲得された資金と、これによる國内の破壞的活動を阻止せんとする爲めである

海空軍根據地として米國が垂涎措かざる西印度諸島中の佛領マルチニク島風景

## 畏し 天皇陛下 お田植遊ばさる

【東京十四日同盟】天皇陛下には例年吹上げ御苑に稻作を御親裁あらせられ代見事に成長して陛下には十四日午後つかの間も聖務を取らせられてお田植遊ばされ農民の勞苦をも親しく御體驗、天機麗しく御あらせられた

## 今劍とつて起たねば 我等は死の斷崖へ轉落
### モーゲンソー藏相 參戰論を絶叫

【ブンスター（マサチユセツト）十四日發】（UP電）財務長官（ヘンリー・モーゲンソー）は、米國は、防衛のため取戰はざる限り自由を確保し得ないであらう、知るが故に我々は"立つたまゝ死ぬか、跪いて生きるか"の何れかを決定せねばならぬのだと述べ、例左の如く附加へた

モーゲンソー藏相

## 自治の強化擴充策 町村合併行っては如何
### 中央協力會議 下部組織問題に意見續出

【東京十六日同盟】中央協力會議三日目は引續いて第二部（國民組織に關する事項）に入つて翼賛運動下部組織の諸問題に就き多數の意見が述べられ、更に第三部"行政機構の刷新並びに運用に關する事項"に就き三構信三氏高度國防國家體制確立の爲め各方面の新體制が要請され、舊黨團の新體制、要項が發表されたが、爾來民間輿論人は自粛自戒して國策順應に邁進しつゝある、然るに官界新體制は未だに確立されず、進んで官界新體制確立要項を發表され度い、而して官界新體制は單に官吏制度の改善に留まらず行政機構の改革斷行に迄進むべきである、山崎靖純氏行政上の不統一、事務處理方法の缺如や徴税等の側面的獨正に就て述べ、大寺芳賴氏より地方町村自治の强化擴充策に關して町村自治には尚少數の紊風と弱點が殘されてゐる爲に、事變下町村に課せられてゐる積極的、建設的な役割は最早や現在の町村の實力を以てしては賄ひ切れない、新時代の要求に即應する町村自治の强化擴充のため、一、議決機關の構成方法を修繕し、各組織團體長を勤務させる、二、實行機關の組織强化、三、各組織村團體は町村長が統轄する、四、町村の合併を行ふ等を實行する必要があると注目すべき意見を述べた

## 四十三年度迄に 米は五百萬噸 商船建造
### 本年中に百二十五萬噸竣工見込

【ワシントン十五日發】（R電）米國海事委員會では本日、米の商船建造計畫を發表したが右によれば本年度は百廿五萬噸に上り、四二年度に總噸數三百五十万噸に達し、四三年度も同じく現在通りの急ピッチで續行、總噸數五百万噸に達するであらうと云つてゐる

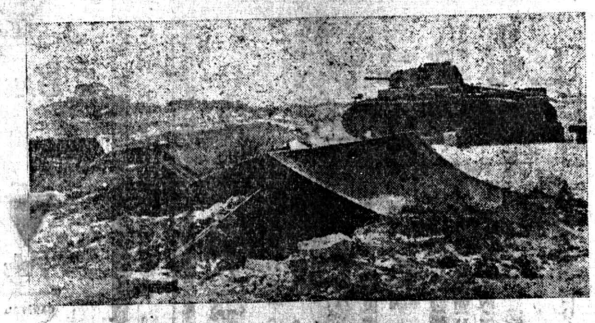
海運委員會では右の數字は洩して海事委員會の權限外にあるものや、機測等を含んでゐない と附加へてゐる

## 危なかつた重慶米大使館 我機爆彈附近で炸裂
### 硝子窓など吹つ飛ぶ

【東京十六日發】AP電に依れば、グルー米大使は松岡外相宛て、個人的に三百語に亘る嚴重抗議書を手交した、この米大使の抗議書は去る日曜日の日本空軍が重慶爆撃に際し爆彈が北米大使館の安全區域内に落下し、米砲艦ツツイラ號に危ふく命中せんとした事に關するものである

## 駐日米大使から抗議來る

【東京十六日發】（AP電）駐日グルー米大使は、日本軍の重慶爆撃に對する報道を入手するや本國政府の訓令待たずして松岡外相宛て抗議的覺書を提示した、グルー大使は抗議書の内容に就ては一切言明を避けたが、同大使は重慶駐在米大使館並びに米砲艦の近くに、少くとも五發の爆彈が炸裂した旨の情報を得たが、一發の爆彈は米大使館の防空壕を距る僅か五十ヤードの地點で爆發、數棟の事務室を破壞した上、窓硝子等は吹き飛ばされたと謂れる



北阿の沙漠を征く獨軍無敵機甲部隊

## 紐育港に機雷敷設

【東京十六日發】ワシントンからの報に依ると、六月十五日から九月三十日までの間に紐育港の入口に機雷を敷設する事になつたと

## 重要意義持つ 獨外相の伊太利訪問

【伯林十四日發】（S電）リッベントロップ獨外相のイタリー・ヴェニス市訪問に關し伯林政界では政治上の重要問題を有するものであると多大の注目を拂つて居り、此に關する諸外國新聞の報道に對しては否定的態度をとつてゐる

## 獨ソ經濟協定 今週中に調印の運び
### ソ聯から獨へ穀物、石油供給

【東京十六日發】獨逸ソ聯間の經濟協定成立今週中に調印の運びとなつたとの經濟筋では十六日午前十時から開かれた樞密院會議で可決、直ちに御諮詢御裁可を仰ぐ事になり、午後四時散會した

## 蘭印、日本の提案拒絶
### 芳澤使節へ更に新訓令

【東京十四日發】（R電）未だ蘭印に在る芳澤使節に對し日本政府はまた訓令を發した旨、正式に發表したが、右は最近日本の新提案を蘭印が又々拒絶した爲めであると謂はれる

## 四ケ國クレヂットも差押へ

【華府十四日發UP電】ルーズヴェルト大統領は、本日、外國資金凍結施行令を發布し米國内に於る獨、伊兩國に依り侵略占領されたる諸國の未だ凍結されてゐない全クレヂットに對しても即時差押へを命じた、該獨、伊の侵略占領國とはアルバニヤ、オーストリヤ、チエッコスロヴァキヤ、ポーランド等を指すものである

## クロアチア國・三國同盟へ參加
### 十五日正式調印、終る……

【東京十六日同盟】クロアチア國の日獨伊三國條約參加に關する情報局發表（十五日）曰、獨伊兩國政府の承認したるクロアチア國の參加の場合と同一である

【東京十六日同盟】帝國政府が去る六月七日正式承認したクロアチア國は、日獨伊三國同盟に加入する事になり、十五日ベネチア宮に於て日本全權堀切大使、獨逸全權リッベントロップ外相、伊太利チアノ外相及びパドリック・クロアチア首席との間に議定書に調印を了した

議定書内容はブルガリア、ハンガリーその他の諸國の參加の場合と同樣である

## 日ソ代表も參加
### 樞軸支配下歐洲諸國會議開催か

【ロンドン十六日發】（AP電）ドイツ筋の傳ふるアンゴラは、近くヒットラー總統はヨーロッパ會議を召集するが、會議には樞軸國の支配下にある歐洲諸國、滿に日ソ兩代表者が出席するであらう、會議は"歐洲新秩序"の調印が行はれた、獨逸定書の内容はハンガリー國其他諸國參加の場合と同一である

【東京十六日同盟】帝國政府は、日獨伊三國條約參加に關する議定書の調印が終る、獨逸、伊國の參加の場合と同樣の參加に關する議定書の調印が終る……

## 伊の無產階級へ福音
### ムッソリーニ首相增俸案を實施
#### 子福者には特別斟酌

【ローマ十四日發】（S電）ムッソリーニ首相は、目下の生活不安を緩和するため俸給の値上げを行ふことゝなり、社會政策實行の第一歩を踏み出したが、首相は增俸案實施により、官憲の取締りに逆行する全生活必需品の騰貴を恐れ、一齊增給を避けることゝなつた、右增俸案實施により數百万の勞働者は生活安定の慶典に浴する譯である

首相は本案の公布に當り、人道的觀念から各勞働者の有する子供の數の多寡に應じて適宜考慮斟酌を計ることゝなつた

## 印棉相場

【東京十六日同盟】印棉二六三、八から二六三、八寄付き二六五、二〇六、二一一、一五三、一五九

## 佛印經濟協定
### 樞府で可決

【東京十六日發】日本と佛印間の經濟協定は、此の新協定によつて、ソ聯から獨逸へ穀物、石油を無賃で供給する事を約束したものである

## ツーロン錨 佛當局正式否定
### 佛艦隊出動說

【ヴイシー十四日發】（UP電）佛艦隊がツーロン海軍基地を撤錨何れへか向つたとの報道が傳はつたが、佛政府及び佛海軍省は佛國艦隊が行動を起した事實は全然ない、旨確言した

## 二人草三郎
（百卅四）
（連載小說）小堀雄 小川倩 畫

### くろ髪（八）

天狗の面を冠つて重役太田屋藤太夫の邸へ潜入、監禁されてゐた村方代表の者達を解放し、藤太夫夫婦の髻を斬つて意趣晴しをしたのは——言ふまでもなく草三郎である。

何處で委を代へたか、その草三郎が邸を出た時の優雅な身軽な姿で、ぶらりと五十鈴屋へ歸つて來た時、待ち兼ねてゐて飛び付くやうに出迎へたのは、主人の文次郎であつた

「ど、ど、何處へ行つて來なすつた草三郎さん——」

「へえ、どこといつて——なにぶらりと祭を見物して來ました」

「なに、祭見物——へえ、何うもお前さんの呑氣なのには呆れ返ります、いや何うも、それどころではない、いや何うも、もう大變な事が出來上つてしまつてゐるぞ」

「旦那、又先刻のやうにからかつちゃ困ります」

草三郎が相手になるまいとするのを、

「いや何うも、からかふ等とお前さん——滅、滅相な！」

「ふッふふ、旦那はどうも、物事を凡て大業に言つて樂しむといふやうな癖がお有なさるので、へえ、その手にはうつかり乘れません」

「ば、ば、馬鹿な事を言ふものぢやない、草三さん、聞いて吃驚仰天、魂消て腰を濕して驚くなよ」

「ふッふ、又あれだ——」

「これ、それぢゃ言つてやるが……お前さんを尋ねて江戸からお君といふ人が來たよ」

「えッ、お君ちゃんが——」

流石に草三郎も稍驚いて、

「ほ、本當ですかえ、旦那」

「それ見ろ、そのくらゐの事でそんなに驚いてゐる癖に……お前さん、この後を聞いて驚くなよ、吃驚仰天魂消て腰を抜かすなよ、こんな事はほんの序の口で、これからの事件たるや、いや何うも全く、實驚眞實、全く實以つて大變な事になつて終つたんだ」

「へえ、そ、そりゃ一體、何んな事なので旦那」

「それ、見ろ。——吃驚して顏色を變へてゐるだらう——それを、人が物言を大きく言つて樂しむ事と——」

「いや旦那、前言は取消します。それで、お君ちゃんが江戸から來て一體何りしたんですえ？」

「何うしたも斯うしたもない自を斬つて差出せと言のだ」

「藤の？」

「藤の？——藤のも假のもない、そのお君といふ人のだ」

「へえ、そ、そんな馬鹿な事を藤が言ふんですえ？」

「あの尾形の旦那がかん〳〵になつてさう仰有る、又さう仰有るのが、馬鹿な事どころか當り前だ」

「へえ——薩張り分らねえ」

「分らぬ事があるものか、お前が、あの溫厚な尾形の旦那樣の思召を無にするのみか、飛んでもない惡口雜言を吐いたものだから、それで到頭こんな事になつて終つたのだ」

「兎に角旦那、もう少し詳く話してみてお呉んなさい」

「話しもしようが、語るも涙の種さ。いや全く、可哀相なのはあのお君といふ娘さんだよ——」

と、文次郎が、眞之進の熊野權現への代參の事から、御お板倉侯の九曜巴の御紋をお君が過つて泥に汚した事——それからお手討にも成るべきところを、尾形右衛門の寛大な計らひで、兎に角、草三郎が斷り次郎に邸へ出頭、その上でお君の首を斬るか、或は草三郎自身の首を差出すか二つの中の何れかを選んでお能の總意を立てろと言ひ置いて去つたといふ——これ迄の事の次第を細々と物語つた。

# 敵の彈幕尻目に海鷲第十次重慶大痛爆

## 十數ヶ所から發火猛焰に包まる

【〇〇基地十四日同盟】十四日、中支艦隊報道部發表、海軍航空部隊は十四日大暴して重慶を空襲、一隊は市街中心部を爆撃し、一隊は長時間市上空を制壓したり

【〇〇基地十四日同盟】海軍航空部隊は十四日折柄の快晴に勇躍、〇〇機の大編隊を以つて第十次重慶爆撃を敢行、雲一つ無き四川の山脈を一氣に翔破、午後四時三十分重慶上空に達し、敵高角砲の彈幕を尻目に川口、高橋、竹田部隊長の率ゆる我海鷲隊は市街中心部殲滅の敵重要施設へ次ぎ次ぎに巨彈の雨を降らせ、市内十數ヶ處より火災を生ぜしめたが、一方連尾部隊長の率ゆる一隊は長時間に亘り重慶上空を翻覆、敵機は一機も現れず、我海鷲軍は黒煙に包まれた重慶を後に悠々歸還した

# 崇陽地區の頑敵

## 空陸呼應し捕捉擊破

【漢口十四日同盟】崇陽東北梅區高洋山西北鐵鋼評山附近に蟠踞する敵の折柄、駐日オランダ公使パブスト氏は、十四日午前十時十五分、外務省に齋藤外相洋局長を訪問、約一時間に亘り懇談した

### パブスト公使　齋藤有洋局長と懇談

【東京十四日發】日・蘭會商顧問の折柄、駐日オランダ公使パブスト氏は、十四日午前十時十五分、外務省に齋藤外相洋局長を訪問、約一時間に亘り懇談した

より進撃した東松部隊及び楠林隊、崇陽東方より進撃した前田、山中、古谷等の諸部隊は相呼應して鋼評山に據る敵陣地を突破、十三日には該陣地を開始した我部隊は、陸軍の密接な協力下に炎熱の中を山嶺を縫つて戰火を擴大中である、即ち大沙南方附近を進撃した平岡部隊その他は敵施設の第十一日早朝行動を開始する第十四師及び百三十四師などに屬する敵第三軍を捕捉擊破する第七、第九兩戦隊殲滅戦第五十四、新編十四師及び百三十四師などに屬する敵第三軍を捕捉擊破する第十一日早朝行動を開始した我部隊は、陸軍の密接な協力下に炎熱の中を山嶺を縫つて戰火を擴大中である、即ち大沙南方附近を進撃した平岡部隊その他は敵施設陣地を突破、十三日には該陣地鋼評山西北鐵鋼評山附近百三十四師長柳幹材に屬する約一千の敵を驅逐某方面に進撃中である、一方白雲橋附近

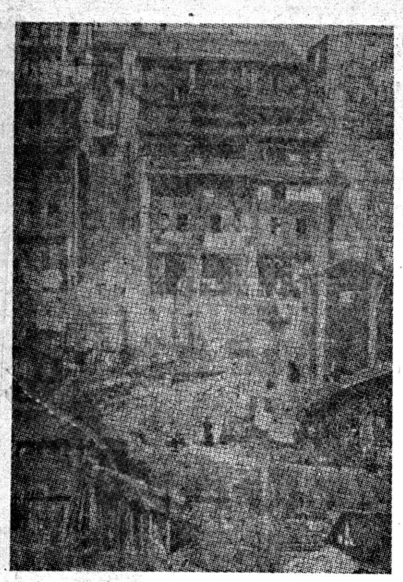
# 滿業が大增産計畫

【新京十六日同盟】滿洲國における鑛業、石炭等の大規模增産計畫遂行に伴ひ、本年度滿洲重工業事業費は三億八千萬円の高額に達してゐるが、滿業では今回右資金の一部を資本金中民間株式資本の資本金四億五千萬円中民間株は半額二億二千五百萬円に增額し資を斷行することになり十六日の株主總會、事務局事務官會議に附議決定した、會社では今期配當を年一割より年八分に引下げたが、この減配より生ずる配當餘力を見込み今後新株式（政府保證六分）と共に八分配當を確保せんとする意向である、增資要項左の通り

一、增資額民間株の倍額即ち二億二千五百萬円

一、第一回拂込額五千六百二十五萬円四分の一

一、增資方法、新株は（配當年六分の保證）優先株とし民間株主に對し、舊株一株に對し一株の割合を以て引受けしむ



空爆下・重慶の慘狀

# チタ會議圓滿妥決

## 滿蒙國境玆に確定

### 來る廿七日から現地作業開始段取り

【東京十六日發】滿蒙國境を確立する第三回チタ會議開催の結果、お互の譲り合に依り愈々來る廿七日から現地作業を開始始する事になつた、この結果、昭和十年以來紛爭を重ねた、久、五月廿八日以來開催の兩國代表はチタに會合、國境の結果、極めて友好裡に右技術的困難を完全に除去するを得たるを以て六月二十七日より現地作業を開始することとなれり

業は客年九月現地作業を開始せるも双方發掘せざりし技術的困難に遭遇し、勞酷寒の季節となり一時作業中止の止むなきに至れり、然るに本年初春と共に此を續行する事に決定

【新京現地十六日同盟】國境劃定作業に關する情報局發表（十六日）東郷、モロトフ協定に基く滿蒙現地國境劃定作業は客年九月現地作業を開始せるも双方發掘せざりし技術的困難に遭遇し、勞酷寒の季節となり一時作業中止の止むなきに至れり、然るに本年初春と共に此を續行する事に決定

# 口惜し汗の結晶

## 日系米人の惱み

【福井縣】太平洋の波荒きが故に苦悶する日系米人——福井市若松町出身淺川久太郎さんはハワイのホノルルで十數年働きつゞけて相當產をなしたが、子女の教育のためにさきごろ長女朝子さん（二〇）以下四男二女を伴つて歸國した、久人（一七）久義（一五）の兩君を京都平安中學へ入學させてほつとしたところへ突き當つたのが日系米人に對する召喚命令

米國の市民權を持つたものは七月十三日まで歸國せよ然らずんば市民權を剝奪するぞ、との通牒で淺川さん一家の惱みは深刻だつた

久太郎さんの國籍はもちろんわが國にあるが、朝子さんらの子供はいづれも米國籍、一家揃つて故國で生活したいのは山々ながら、もし七月十三日までにハワイへ歸らなければ朝子さんらの市民權は剝奪され久太郎さんが十數年間働いて築き上げた汗の結晶たる子供名義の財產は元も子もなくなつてしまふのである

久太郎さんは「子供の自由意思に委せるつもりです」と語つてゐる

# 池田　元警視總監

## 某要職に就任

【東京十四日同盟】元警視總監池田清氏は今回海軍國際關係某要職に就任、十五日空路赴任の途に就いた

# 尋人廣告

左記ノ者ノ現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ當館迄至急御一報相煩度

記

鄂岡縣濱名郡河輪村東一四七五番地　推定住所ソロカバナ

線パラグアス一磨青島只市方

曾布川フミ子（家出關係）

大阪市西淀川區外島町二〇番地今田　武夫（所在調査願）

山形縣南村山郡金井村大字片谷地二〇番地

小林喜右衛門（同）

山口縣玖珂郡御庄村大字御庄一五六九番地

國廣　勉三（同）

山形縣東村山郡天童町大字北目二番地

中川　晋作（同）

佐賀縣神崎郡三田川村大字吉田一七五番地

野中　榮次（同）

長野縣松本市大字北深志片端町一七八番地

猪俣　久美（同）

福井縣今立郡舟津村西鯖江

岡田　等（同）

本籍地不明

持田德三郎

京都府人

狹間福壽雄（書信）

昭和十六年六月九日

在サンパウロ

大日本帝國

總領事館

Consulado Geral do Japão
Caixa Postal 1167
São Paulo


# 社告

藩啓時下益々御清評之段奉賀候、陣若弊社各外交員を頒書の地に差し向け居り候間宜敷御配慮の程御願申上候

◆墨市市内　菊地　鐵彌

◆サンタクルース・ド・リオパルド、エスピリトサンド・ド・サルボ、サンペードロ・ド・サルボ、ドナアメリヤ、アグードス、レンソエス方面　高橋朝太郎

◆バストス方面　茂木　源太郎

◆バストス、ランシヤリア、クワタ方面　阿部　輝雄

◆ペールパライーゾ、ラピニヤ、グワラサイ、アンドラヂーナ方面　田代　重守

◆マリリア、ペラクルース、ガルサ方面　本多　彬

◆ポンペイア、キンターナ、サンターナ方面　本多　聖

◆パウリスタ本部方面　大西　武雄

◆サンパウローゴヤス線方面　中川　忠吉

◆パラグワスー方面　縫縫　久雄

印刷物、送當外交員

◎ガルサ、ペラクルース、マリリア、ポンペイア、クパン（町）方面　尾山　龜吉（マリリア支社員）

◎ノロエステ線各驛　龜井　義一（リンス支社員）

昭和十六年六月

伯刺西爾時報社



# M. HARADA

R. Antonio Paes, 101 Tel. 4-6784 S. Paulo

種芋

純イラチ產

パラナオーロ種

多量在庫

御注文に應ず



# NOBIS

ブラジルで最優良のガジミーラはマルカ「ノービス」です

染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價

御出聖の際は是非當店に御立寄下さい

製造販賣元　ラニフイシイオ　サンタ・ローザ

聖市ベンヂヤミン・コンスタンテ街四八番　電話三—六三四一

R. Benjamin Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo



# 一獻莫快

家庭明朗

東麒麟

鳳



◎在伯邦人兒童にピッタリくる讀物を滿載してある「子供の園」を讀ませませう。

一冊　三銭
半年　十六銭
一年　三十銭

發行所　ブラジル時報社



MEMO

本日お伺ひ致し候處

今日も尚師でお休みの由嘸かしお困りの事と察し申候

當方は全家族とも仁丹歯ブラシの愛用により皆々強歯保健にて大いに喜び居り候

丹頂は、獨特の中低植毛に有之、齒きにくい歯の內側を徹底的に清掃出來る逸品に御座候へば是非一度お試し被下樣おすゝめ申上候

仁丹歯ブラシ一本あれば一年間はガランチード使へ可申候

仁丹
シラブ歯

折れず・抜けず・耐久力三倍



故國で有名な

白金カイロ

大型　一個十七銭（二十四時間用）
小型　一個　五銭（十五時間用）
火口　一個　三銭五百

時報商事部



# 東山銀行

本店　サンパウロ

チンデルプ・プ・アリマ・スンリ・ストンサ・支店

聖市ブロレンシオ・デアブレウ街三〇八番　電話三一一四一番



# ピリアニット

視察者日々激增

伸び行く北パラナの心臟部に位する驚異的發展の聲高き　ピリアニット

をお訪ひ下さい。氣候快適、風土病絶無

ピリアニット植民地の隣接地、豐沃無比なる

コンゴニヤ耕地　六千アルケーレス

新に分讓開始致しました

詳細は左記へ御問ひ合せ願ひます

聖市シルヴエイラ・マルチンス街二七六番　日伯產業會社　C. POSTAL. 3329 - S. PAULO

北パラナ、ピリアニット驛　杉谷茂一　EST. PIRANITO S. P. P.



# ブドウを奬む

果樹の內最も有利確實

苗木の品種は正確を保證す

◎優秀種

▲モスカテル、ヂアマンテブレト、ペルロウ、ピロパノ四二、五七號　一本　八銭

◎特等種

▲白色葡萄—ピロパノ一九、二三、二八、五二號、ヂリジア、オリベテ

▲黑色葡萄—ピロパノ五、サバルスカルコエー

▲紫色—ピロパノ二號、七四號、九六號　苗　一本　五銭

◎歐洲種

▲白色—シヤセラ、ゴルヂンクイン、ラマルモラ、モスカテル、ペルテア、ボアイトナイス

▲黑色—アルフオンセ、フランケンタル、グロスコルマン、モスカテル、ハンブルグ

▲紫色—アミラブレ、モスカテルロシヤ、モンストロー　苗　一本　五銭

◎米國種

▲白色—ニヤカラ、ドチエス、ニンバイア、サエベル

▲黑色—ベルジユラク、ウニオンビアンユ

▲紫色—アメリカ、カタバゼフエルソン　苗　一本　五銭

◎酒釀種

▲白色—マルバシア、ピノト、ガルガネカ、ピロパノ四號、クーデルク

▲黑色—バルベーラ、カベルネ、ピノ、バスタルト、サイベル、チルシー　苗　一本　四銭

送料は本數により差あり問合せ下さい

時報商事部



！ところす蓄貯、ところす有所を地土は設建の家吾！

※DIRETORIA B.A.S. CAIXA POSTAL, 2975 - SÃO PAULO

南米銀行　CAPITAL 1.000:000

店本　市ロウパンサ
PRAÇA DA SÉ, 393
C.P.555 Tel. 3-5101/2 電話 GINKO

すまけ上希を立引お

支店所在地

アラサツーバ　ランシヤリヤ
マリリヤ　リーンス
バストス　リベロンプレート
チエテ　リオプレード
プロミッソン　ロンドリーナ
バウルー　トレスバラスイ
プ・プルデンテ　ビリグイ
パラグワスー　ポンペイア
オウリンニョス　サンタクルスドリオパルド

積立貯金表

すまいましてつたかに間のついは位年五
いさ下用利御非是に金資增結此、に金資學のまき子お

| 年數 / お受取 | 一年 | 二年 | 三年 | 五年 |
|---|---|---|---|---|
| 壹コント | 82$000 | 40$000 | 26$000 | 14$800 |
| 弐コント | 164$000 | 80$000 | 52$000 | 29$600 |
| 參コント | 246$000 | 120$000 | 78$000 | 44$400 |
| 五コント | 410$000 | 200$000 | 130$000 | 74$000 |
| 拾コント | 820$000 | 400$000 | 260$000 | 148$000 |
| 弐拾コント | 1:640$000 | 800$000 | 520$000 | 296$000 |
| 參拾コント | 2:460$000 | 1:200$000 | 780$000 | 444$000 |
| 四拾コント | 3:280$000 | 1:600$000 | 1:040$000 | 592$000 |
| 五拾コント | 4:100$000 | 2:000$000 | 1:300$000 | 740$000 |
| 百コント | 8:200$000 | 4:000$000 | 2:600$000 | 1:480$000 |

お取扱上につき、お気付きの点が御座いましたら※印宛名にて御注意を希上げます

# 米、獨外交關係斷絕？

## 米政府

## 獨全領事館に閉鎖命令

【ワシントン十六日發ユーピー電至急報】北米政府は國内に於るドイツ全領事館に對し閉鎖を命じた

【ワシントン十六日發ユーピー至急報】米國内全ドイツ領事館の閉鎖は七月十日よりその効力を發生するであらう

【ワシントン十六日發ユーピー電至急報】紐育市のドイツ情報事務局及び旅行局の閉鎖が命ぜられ、又TO通信社の閉鎖も命ぜられたと傳へられる

【ワシントン十六日發ユーピー至急報】北米政府の新態度は、ドイツとの外交關係が殆ど斷絶狀態に在る事を意味する

# 敢然

## 奏でる"難民救助"の進軍譜

## 起つたリンス女子青年

## 義捐金募集に大童！

### 市役所"映畫會"開催に税金免除

邦人の南大河州水禍罹災民に寄せる滿腔の情はまさに急調調を示し、邦人の在るところ必ず他に率先し分に應じて爲す義擧には、當の難民の感謝は言はずもがな、ひとしく他人の滿腔感動してやまざる"ところであるが、こゝにまた……災厄に喘ぐ難民救濟運動に敢然起つてその實を擧げ、物優しい大

難民救助をめぐつて美はしい狀景を展開した、傳同市日本人會では當夜の收益金も共に取纏め救濟金として送る可く取計ふ筈である

花に手藝にと相集ふては會員相互の親睦を計り、例會を催しては一章修養向上に努め、麗麗の一路を辿りつゝある汎リンス青年會女子部では"南大河州水禍罹災民救濟"の企てを新聞紙で見るや……敢然起つて之に呼應し市部を動員して晝夜義捐金募集運動をなに誕生し、その後生十名許に達したので、一先づ之を同市日本人會に屆けその傳達方を依頼した

又去る十二日夜は青年會館に於て日伯シネマ社よりフイルムを借り受け"義捐金募集興畫の夜"を催したが、市役所でも乙女達のこの美擧を激賞し當夜の稅金を免除する

御けて呉たが、早くも九日二

# 日本人の心意氣

## "泣くを救ふ"が俺らの心情

### 聖市洗濯屋さんの義擧

聖市邦人洗濯同業組合では、四邦字新聞社發企の"南大河州難民救濟金募集"の發表を見るや、逸早く役員協議の上義捐金募集を開始したが、同組合加入の店主のみでなく、その傭人まで一人殘らずこの擧に賛同喜捨し此の稅金五百貳拾參圓の多額に達したので、これを第一回分として總領事館に屆け送付方を依頼した

# ムーア號事件が實證

## 中立の法

### 權利擁護は無償値

### 米は獨の心理を解せずと一伯紙

去る十三日リオ市のオ・ジョルナル紙は獨潛航艦のため撃沈された米國貨物船ロビンムーア號事件に關して、左の如く論じてゐる

第一次歐州大戰當時獨逸は米國の心理がわからず、米國の參戰を豫測してゐなかつた嘗てあのやうな大敗を招來する破目に至つたのであるが、今次歐州戰では反對に米國は獨逸の心理を了解せず、金科玉條中立樹さへあれば獨國の危機から回避することが出來ると商を拓つてゐた處が、ロビンムーア號事件によつて中立法による權利擁護などは一片の反古に等しく何等の價値なきことを知るに至つた

# ムーア號の遭難船員

## 伯船に收容され

## レシフエに入港

レシフエよりの報に依れば、獨潛水艦に撃沈され中立法をたてに米國内に露々の興論を生ぜしめたロビンムーア號の遭難船員及び乘客は、去る十一日伯船オゾリオ號に收容され同港に入港したが、埠頭や新聞記者、ニュース映畫班等で時ならぬ騒ぎはひを見せた

避することが出來ると商を拓つてゐた處が、ロビンムーア號事件によつて中立

# 中南米諸國と……

## さらに親密の度を……

### "ラテン・アメリカ中央會"生る

【東京十六日發】ブラジル、メキシコ、アルゼンチンなど古い親類づきあひをしてゐる諸國と更に親密の度を加へやうと云ふので、ラテン・アメリカ中央會の誕生を見た

カミロ・デ・オリベイラ新移民審議會長の出席の下に開催された去る十三日の審議會の席上に於て可決されたものは外國船乘組員の乘船及び下船、伯國年少者の海外旅行に關する措置等の諸問題である

特に秘密會議によつて望ましからざる外國人入國問題に關する討議が行はれた模樣である、猶その會合に於て審議員ネイベル氏は審議會改組案を提出した

# 外國人入國問題

## 移審秘密會で討議

界實業界の人々に依つて去る十二日"ラテン・アメリカ中央會"の誕生を見た

# 新しき土を拓く人々

## 運——氣

### 南樹 (57)

—八—

**住め**

ば都で、月給八十ミルの書記でもチビリサの農園を去ることは後髮の引かるゝ樣な感慨なきを得なかつた。此のまゝ進んで行けば、移民收容所で三百ミルの月給を貰ふ位のことは一兩年後には必ず實現し得られよう。スペイン當時の支配人メオゴユは町につれて行つて、知人に紹介してくれたりして喧し屋に似ず、私には親切にしてくれたが、次に來たテオツヒロはカンピネーロで、何時もむつちりして無愛嬌であつた。しかし無口に似ず何處か人のよい思ひ遣りがあつて、私の云ふことは少し位の無理はだまつて通してくれた。雇を取つて郵市に出る時にも、

「お前のためを云へば、強に辛抱した方がいゝんだがな。月給を來月から百五十ミルにすることにして呉るんだが……」

と云つた。私も安月給と筋肉勞働から新く脱出して、これからと云ふ辛抱の芽が吹き出す時に、農園を出ると云ふことは不利益なことで、テオツヒロ支配人の云ふことは、少しも疑ふ餘地のない眞實であつた。

**さり**

ながら、私のサンパウロ市に出て移民收容所に這入ると云ふことは、私一身の問題でなく、日本移民の到着に對して準備することであつた。五十ミルの月給で乾燥園に、珈琲擦きをしたと同じ樣な意味で、私は何も彼も諦めてサンパウロ市に行かなければならなかつた。私は決して自己のかした犧牲を吹聲する氣もなく、自慢する心もない。只私は自然に左樣に感じ、左樣に實行したに過ぎなかつた。

**サン**

パウロ市に着いて、私の第一に取るべき手段は、農商務局に出頭して、長官の命令を受くることであつた。

三浦通譯官から、外國人は日本人が下駄を穿き慣する樣に初對面には先づ靴に眼をやるものである。キレイに磨かれて居るか、否やに依つて其人が禮儀正しく、心掛が同到であるやを判斷する資料とするから、氣をつけよと教へられて居たので、私は先づ靴屋に這入つた。無精者の私に似氣なく其日の私の靴は、カイゼル式と云ふよりは三浦荒次郎張りにピンとはね、靴は漆の樣に黒く光つて居た。

**パテ**

オ・デ・コレヂオの舊農商務局の建物に這入つて、受付に三浦通譯官の紹介狀を出すと二階に案内されて、あの廣々としたサーラに通された。

エンセラーダされた床の中央に置かれた机は、可成り大きなものであるが、室が廣いので小さく見えた。接見の椅子は壁に添ふて並べてあつたが、五、六人の男女がだまりこくつて座つてゐた。四邊を見廻はすと、重々しいカーテンのために日光を遮られ、油繪の畫がくすんで見えた。天井が高いので眩暈をすると大きな蠅さを立てた。私は自ら物語中の人物にでもなつた樣な氣がしてならなかつた。

**突然**

右方の大きな扉が開くと、荒々しい足音を立てゝ近付て來る巨漢がある。手に書類——それは三浦通譯官の書いた紹介狀を開いたまゝ持つてゐた。

「鈴木と云ふのはお前かの？」

聲も身なりも眼光が一層鋭い。私の眼は鼓動して來た。

人を喰つた樣な傲慢な態度は多少反感をそゝるものが無いではないが、威風堂々として四邊を威壓するものがあつた。

「シン・セニヨール！」

立ち上つて答へた。此の人が農商務長官ドクトル・カルロス・ポテリヨである。と云ふことが、稻妻の如く私の頭に閃いたからであつた。

# 十A—九 補回の熱戰！

## セントラール軍 蜂谷を降す

去る日曜日午後總聖市蜂谷球場に於て行はれたセントラール對蜂谷の野球試合は補回戰に入る接戰を演じ、十A九のスコーアを以てセントラール軍勝歌を奏した、戰跡後報

コスタ新執政官は、聖州農村教育問題に關する意見を發表したが、その内、農村教育改善中、特に教師住宅の改善が先決問題であると強調した

◇——

膨脹都市サンパウロ……聖市の膨脹ぶりは一寸その比を見ない程であるが、それだけに諸施設が追はれ勝ちであることはいなめない——ところで市役所公園課では、市民の保健上から、また市の美化から今度新に數千本の綠樹を植宜することゝなつた

◇——

一昨日聖市パカエンブ競技場で行はれたサンパウロ對パルメイラス間の野球大會に選ばれて出場する聖市"大正チーム"は昨日から有閑館で合宿をはじめた「今年こそは」と紅顏を昂揚させ意氣軒昂を開始した

◇——

市内ビクトリヤ街五七八にある Bar Rillo。來客に應じて各國の音樂を聽かせて今大へんな人氣であるが、日本のものでは「愛國行進曲」をはじめ流行歌曲などを奏してゐる

◇——

ストライタリヤの蹴球試合は物凄ひ狂熱人氣であつたが、試合は零對零で終つた、各放送局は午後三時より何れも一齊に放送を行つた、競技場の入場總數一万五千餘人で、その總額一万五千餘圓を、その金高百五十コントスに上つた

◇——

去る銘衝戰に優勝、喇れの全伯少年野球大會に選ばれて出場する聖市"大正チーム"は昨日から有閑館で合宿をはじめた「今年こそは」と紅顏を昂揚させ意氣軒昂を開始した

◇——

市内ビクトリヤ街五七八にある Bar Rillo。來客に應じて各國の音樂を聽かせて今大へんな人氣であるが、日本のものでは「愛國行進曲」をはじめ流行歌曲などを奏してゐる

◇——

開地駐在米國事務官ウイリアムス氏は直ちに上船し遭難船員と唯一人の乘客に對し洗禮式の模樣について秘密裡に訊問を行つた、傳ムーア號は一九四〇年鋳工八千噸の新式貨物船であつた

# 實業リーグ

## 小西・ブラ拓に辛勝

## 時報・海興に慘敗

聖市實業野球リーグ第十二日目の二試合は去る日曜日正午より行はれた

### 小西 対 ブラ拓

小西先攻で開始、ブラ拓丸山投手の制球力を欠く初回八點を許し二回高津森川、松田、木下諸氏審判の下に文化先攻で開始したが、ブラ拓は新進比嘉を、文化は老巧松山をマウンドに送り双方攻防の妙を盡くして對峙したが四回まで兩軍無得、五回文化は飯矢に最初の一點を入れさらに六回杉山三塁打次打者矢田部の中飛は犧牲打となつて一點を加へたブラ軍は八回より投手を今井に替へ文化は打撃を持ちたが、味方の打撃振はず二對〇で敗れた

文化 ○○○一一○○○○ 二
ブラ ○○○○○○○○○ 〇

# ソロ兩雄の決戰!!!

## "傳統文化"に凱歌

### 二對〇 ブルデンテ打撃振はず惜敗

さきにパストス、ア・マッシヤードを共に降しソロの驍將を以て任ずるブ・ブルデンテ軍と一時覇遇を傳へられたはいへ傳統に生きる文化軍との對戰は八日、バラグワース球場に於て（球）齋藤（審）森川、松田、木下諸氏審判の下に文化先攻で開始したブ軍は新進比嘉を、文化は老巧松山をマウンドに送り双方攻防の妙を盡くして對峙したが四回まで兩軍無得、五回文化は飯矢に最初の一點を入れさらに六回杉山三塁打次打者矢田部の中飛は犧牲打となつて一點を加へたブ軍は八回より投手を今井に替へ文化は打撃を持ちたが、味方の打撃振はず二對〇で敗れた

文化 ○○○一一○○○○ 二
ブル ○○○○○○○○○ 〇

# 早慶を掉尾に六大リーグ閉幕

## 法一春の覇權握る政

【東京十六日發】六大學野球の掉尾を飾る早慶戰は十五日午後二時十五分早大先攻で開始、七A對三で慶應に凱歌あがつた、かくて七勝二敗の法政が春の覇權を握つた二位は七勝三敗の早大と明大三位慶應、四位立教、五位帝大の順

## 訂正

本紙去る十日の仲裁に入り刺さるとの記事中ブラード精糖工場とあるは、ブラード・シヤベス精糖工場の誤りであつた事が、同地有力者の連名通知に依つて判明しましたから、右訂正致します

# 海興 時報 対 海興

海興先攻で開始、海興澁谷投手好調を示し時報の打棒を完封した、時報は終始魅力なく守備陣の失策に十一點零で惨敗した

# 印棉 相場

【東京十四日發】印棉二〇六、寄付き二六六、二四七、一九六、八、二〇〇、一五〇、一五四、八

# 蔬菜相場

六月十六日（ロチア產組調）

| | | |
|---|---|---|
| トマテエスペシヤル | 四〇 | 四五 |
| プリメーロ | 二〇 | 二五 |
| セグンド | 一〇 | 一四 |
| レボーリオ | | 八 |
| ピメントン | | 八 |
| ページ | 一〇 | 一六 |
| エルビーラア | 一六 | 二一 |
| ポブリンヨ | 二六 | 三〇 |
| ペピーノ | 二〇 | 二六 |
| 人ヂン | | 一000 |
| コーベブロール | 一〇 | 一六 |
| パタタ | 一一 | 一六 |
| ナス | 二〇 | 三〇 |
| 玉子 | 四〇 | 四五 |


よくきく、のみよい 肝油 ハリバ

Café Adelino
日本人當樣の好む珈琲店
新經營者の下萬全のサービス是非御來店を
Praça João Mendes, 135
Tel. 3-1024

開業披露
元井上氏經營のバール、サンパウロを讓受營業致す事になりましたから、今後とも何卒宜しく御引立の程を御願申上ます
インヂアナ驛 郵函五番
森田 操

營業種目
各種合金鑄物
諸機械製作並請負
設計及製圖
菅井製作所
自宅 聖市バロン・デ・イグアペ街九三四
工場 聖市ドクトール・トーマス・デ・リーマ五四四
電話 七—七二五五

CASA PAIVA
Almeida & Almeida
RUA SÃO BENTO 359
SÃO PAULO
冬物大賣出し
毛織物 毛布 毛糸
糸
團蒲 ワランネル
向供子 婦人 方殿
防寒着
驚く程安い値段お

御通知
靜岡縣海外協會主事金井善太郎氏の送別會をだ記の通り開催仕り候間萬障御繰合せの上御來席の程願上候
期日 六月廿二日 午後一時
會場 ミツワ食堂
會費 貳拾錢
尚會場の都合何之候間御出席下さる方は廿一日迄にタバチンゲーラ三五番ミツワ食堂内 左記有志事務所宛御一報御願申上候
昭和十六年六月十七日
聖市及近郊在住 靜岡縣人有志
聖市 靜岡縣人有志一同

名灸と鍼術
マリリア市 郵函 568
パエスレーメ街三三一 鍼灸マッサージスト 磯谷本院
悲觀症の方へ御注告
悲觀症の方は自身で其原因する處を發見すべきです。此病症は單なる身體の不調から來る多くの例があり、其手當をすると直ぐ快復致します。身體の衰弱の場合は生活は精に撓快樂觀的のものです。自身で原因不明の場合は醫者の診察を受け悲觀症、神經衰弱が他の病氣に由來するか又は體質の變化のなかを糺めるべきです。後者の場合は攝食法と攝養使用法に依つて快復するものです。單にグリミア又は砂糖分の代謝作用の不平衡は神經系統を亂します。又人體に攝の不足する場合も同樣です。現代醫學は兩者の治療法を有してをります。攝不足の場合はオスフアン（TONOFOSFAN）の注射を何本かする事で患者は最初の二十四時間内に其効に驚嘆致します。
南米隨一として知られたるマッサージ並に灸


弟義三儀六月十一日午後五時半移轉途中ピラアボーラ町近くに於てカミニヨン顚覆死亡致し候に付同十三日聖市アラサ墓地に埋葬仕り候間此段生前厚知諸賢へ謹告仕候

尚葬送の節は御多忙中にも不拘遠路御會葬賜被下過分の御香料等賜はり且生前中一方ならぬ御愛情を賜はり御芳情難有厚く深謝奉り候 一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀以紙上御禮申上候

マリリア驛リベイロン・アレグレ植民地
實兄 江越辨
實母 ヒデ
親戚 全妻 宇田高吉
親戚 宇田 窪村 朝稔
友人 全米西
友人 田敏夫 宮本由太郎
山進治 澤崎定義
源勝 澤崎衛二 小澤崎鹿新三郎


山田齒科療院
聖市バロン・デ・ゾブラット街八九
電話二—七五〇八
（中央メルカード驛）
業外科、小兒科專門
ドトール タツベルチーノ
ソロカバナ線
ブ・ブルデンテ市
ニーロ・ペサーニヤ街三十五番地
（片岡ホテル側）

譲り度し
伯國專賣特許權、目下盛業中の美術製造業都合により歸國の爲至急譲り度し
價格六拾コントス（製造機具一切共）
詳細御照會は
ブラジル時報社
宮下宛
C. P. H - S. Paulo

A PREFERIDA
サン・ジユオン RUA DIREITA, 2 サン・ペドロ
3.000コントス 1.000コントス
30日に30コントスの家屋更に分割提供！

Redação — Rua Fagundes, 196
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

# NOTICIAS DO BRASIL

Diretór MA[illegible]HIRO SAMESIMA

Assinatura Ano ..... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero de dia .... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO — TERÇA FEIRA 17 de JUNHO de 1941 — DIARIO No 2504

## O jornalista Mota Filho na direção de D.E.I.P.

### Tomou posse ontem o novo titular — Comissionado ao governo federal o sr. Cassiano Ricardo

O sr. Fernando Costa, interventor federal em São Paulo, por áto de 14 do corrente, dispensou, a pedido, do cargo de diretor geral em comissão do Departamento Estadual de Imprensa e Propaganda, o sr. Cassiano Ricardo, nomeando, por decreto da mesma data, para aquele cargo, o professor Candido Mota Filho, catedrático de Direito Constitucional da Faculdade de Direito da Universidade de São Paulo.

A nomeação do professor Candido Mota Filho causou a melhor das impressões nos circulos sociaes e intelectuaes paulistano, mórmente entre a grande classe jornalistica de que o novo D.E.I.P. é uma das figuras ma. representativas, contando invejavel folha de serviços a imprensa nacional e, particularmente, a cadeia de jornais dos «Diarios Associados», de que é, desde ha muitos anos, brilhante colaborador.

Como jornalista, e em outros altos cargos que tem ocupado o ilustre homem de letras tem prestado valioso concurso ao Estado, principalmente como diretor do Instituto Modêlo de Menores, onde Mota Filho se distinguiu sobremaneira.

A posse do novo titular do D.E.I.P. realizou-se ontem às 11 horas, no Palacio dos Campos Eliseos.

O sr. Cassiano Ricardo, ainda por decréto de 14 do corrente do interventor Federal, foi declarado em comissão, junto ao govêrno federal, sem prejuizo dos seus vencimentos e mais vantagens do seu cargo efetivo, que é o diretor do Expediente do Palacio do govêrno.

## O Ministro da Viação ao Pará

RIO, 14 — Pelo avião de carreira da Panair, que partirá do Aeroporto «Santos Dumont», ás 6,30 horas da manhã embarca segunda-feira para Belem do Pará, o general Mendonça Lima, ministro da Viação. O titular da referida pasta, que vai inspecionar diversos estabelecimento afetos ao seu ministerio

## O BRASIL TEM 41 MILHÕES DE HABITANTES

RIO 14 — Segundo se divulga, de acordo com o ultimo recenseamento a população do Brasil atinge a 41 milhões de habitantes. O Estado que oferece maior soma é S. Paulo, com mais de 7 milhões. O Distrito Federal conta 1.800.000. O Territorio do Acre tem pouco mais de 80 mil habitantes.

Acrescenta-se que esses algarismos em face da revisão que está sendo feita, deverão sofrer pequena alteração, não tendo sido ainda recebidos alguns mapas e sendo outros remetidos em duplicata.

## Concessão de fiança para aluguel de casa

RIO, 12 (Via Vasp) — O presidente do I. P. A. S. E. sr. Julio de Barros Barreto, baixou uma portaria estabelecendo as seguintes normas para a concessão de fiança:

«1.º — A fiança para aluguel de casa prevista no artigo 70 do decreto 24.563 de 3 de junho de 1934, constará de depósito na importancia pretendida pelo proprietario, até o maximo da soma de tres alugueis mensais, concedida ao contribuinte a titulo de emprestimo simples, na forma das instruções respectivas, e dentro do limite legal para a consignação em folha de pagamento exigida pelo citado artigo, correndo o processo pelo Departamento de Aplicação de Capital.

2.º — Fica suspensa a prestação de fiança sob as formas diversas até aqui adotadas, devendo o Departamento de Previdência, pela secção própria, promover a liquidação das que estiverem em vigor, ou a sua modificação de acôrdo com as normas ora estabelecidas.

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7-4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

## O reerguimento econômico do litoral norte

Dentro de treze anos, S. Paulo comemorá quatro séculos de civilisação. Há trezentos e oitenta e sete anos Martim Afonso descortinou o planalto piratininganо ao gênio colonisador do luso, conclamando-o a alargar a «Fé e o Império».

Mas, com aquela visão que bem deixava entrevêr as influências do instituto de Sagres antes de descer às regiões planaltinas, para fixar as fronteiras do sul, o grande pioneiro consolidou os marcos de conquista que foram, aos flancos de S. Vicente — Cananéia e Iguape — Ubatuba, São Sebastião Vila Bela e Caraguatetuba. Com ão bem escolhidas vanguardas — Piratininga, sob as bênçãos de Anchieta podia desenvolver-se para cumprir mais tarde a sua missão historica — rumo ao oeste.

Clarinando num momento decisivo da vida nacional, a Revolução de 10 de Novembro assinalou o instante de S Paulo voltar-se sôbre a grande caminhada historica que perlustrou durante mais de três séculos, para de novo lançar suas vistas escrutadoras aos flancos do litoral. E' um imperativo do gênio da raça: travar a batalha que se aproxima, numa nova arrancada em direção ao centro do continente, consoante a palavra de ordem do Presidente da República.

Essa é grande significação do constante cuidado com que o sr. Adhemar de Barros determina providências para reerguer económicamente os vales do Paraíba e do Ribeira, num plano de conjunto, grandioso e harmônico.

## A OPORTUNIDADE

Certamente nos confrangem os horrores da guerra. Tal sentimento não nos impedirá, entretanto, procuremos aproveitar a oportunidade que se nos oferece para o desenvolvimento de certos aspectos de nosso sistema economico. Mesmo porque essa vantagem nos constituirá, até certo ponto, uma compensações pelos sensiveis prejuizos que os irroga a presente situação mundial.

A industria europeia mantinha o monopolio de muitos suprimentos ao consumo das repúblicas ibero-americanas. Os proprios Estados Unidos, preferindo concentrar capitais nas industrias pesadas e nos trustes comerciais soiam fazer na Europa, sobretudo central e no Japão os seus abastecimentos de pequena industria. Tais correntes de comercio acham-se agora interrompidas ou temperidas, por força das circunstancias. E' natural que os compradores da America do Norte, Central e do Sul volvam vistas a outros centros industriais capazes de lhes fornecer tantos artigos cujo uso lhes é indispensavel. Ora o Brasil, e sobretudo São Paulo, se acham plenamnete em condições de satisfazer a essa procura. O nosso vasto e complexo aparelhamento industrial pode fabricar a maior parte dos artigos desejados pelo varejo americano. E o que ainda não fabricamos poderemos fazê-lo com pequeno esforço de melhoramento e adaptação técnica.

(Continuado)

## A BERINGELA

Requer, essa hortaliça, terra boa mistura de areia e barro, estando o sólo bem dotado de materia organica.

O terreno deve receber boa estrumação com antecedencia e serem incorporados, na cultura seguinte, estadulos quimicos.

Semeia-se de agosto a dezembro em caixões ou alfabres, em linhas distanciadas meio palmo.

Depois de se formar a terceira ou quarta folhinha faz-se o primeiro transplante e quando as plantinhas deitarem a quinta ou sexta folha, vão para o lugar difinitivo, plantadas na distancia de meio metro em todas as direções.

Removem-se os bratos lateraes e desponta-se a planta acima da segunda inflorescencia, deixando-se apenas um fruto por inflorescencia.

Os ramos lateraes devem tambem ser despontados acima da segunda flor.

A planta deve ser estaqueada para se manter de pé.

Da semeadura até a colheita levam de 4 a 6 mezes e não se deve colher os frutos quando já se desenvolveram completamente, pois no termo desse desenvolvimento se terão tornado maus para serem comidos.

## IREGULARIDADES NO RECOLHIMENTO DE RENDAS DO SERVIÇO DE FRUTICULTURA DE SANTOS

RIO, 12 (Pelo telefone) — O Presidente da República submeteu ao exame da DASP o processo administrativo instaurado em 1935 a dependência do extinto Serviço de Fruticultura de Santos para apurar irregularidade no recolhimento de rendas e determinar as responsabilidades dos servidores envolvidos nas mesmas.

O inquerito concluido em 19 de dezembro de 1935, permaneceu no Ministerio da Agricultura, até dezembro de 1940, quando o Ministro por sugestão da divisão de Pessoal, resolveu designar nova comissão para apresentar segundo relatorio, propor as penalidades cabiveis na fórma dos Estatuto dos Funcionarios Públicos, e citar os indiciados para apresentação da defesa.

Depois de estudar o processo a DASP concluiu agora pela aplicação das seguintes penalidades:

a) — Demissão a bem do serviço público do escriturario Japir Moreira da Silva, pelo confessado desvio de renda cujo recolhimento lhe estava aféto;

b) — Demissão igualmente do agronômo fruticultor Casemiro Guimarães Junior, por ter ficado comprovado seu procedimento irregular, já permitindo pagamento indevido de vantagens a auxiliares seus, já consentimento e beneficiando-se da distração de rendas, utilizadas para emprestimos a funcionario e a si proprio.

c) — Suspender por 30 dias o agronomo, fruticultor Henrique Santos Moreira, por ter incorrido em falta grave deixando de providenciar á apuração e de obstar a continuação de sérias irregularidades no serviço sob sua chefia;

d) Repreensão dos agrônomos fruticultores Eduardo Claudio da Silva e José Eurico Dias Martins;

e) — Dispensa dos extra-numerarios classificadores auxiliares Hilario Gonçalves Cajazeiras, Damon Pitias de Queiroz, Antonio Sertorio Bueno de Camargo, Oswaldo Rebelo, Antonio Carvalho Payão, Benedito Celestino dos Santos, João Hipolito Fernandes e Alvino Pinto Dias, visto terem confessado a aceitação de vantagens indevidas de particulares e de entidades sujeitas a sua fiscalização.

O Presidente da República aprovou o parecer da DASP.

## Preservando o patrimonio florestal Jardim Botanico

RIO, 12 (Via Vasp) — O Presidente da República autorizou o Ministerio da Agricultura a mandar executar os trabalhos necessarios ao melhor abastecimento de agua para o Jardim Botanico desta capital, afim de preservar as estiagens os especimens raros e valiosos do rico patrimônio florestal, ali existente. Essa medida foi imposta pela sêca destes últimos tempos que prejudicaram esse jardim, principalmente com a falta de agua nos lagos destinados á cultura de «ninyaceas», e outras especies, assim ameaçadas de sério dano, que, felizmente, pôde ser evitado.

## Duplicada a produção de trigo em um ano

### ONDE SE PROVA A EFICIENCIA DO FOMENTO AGRICOLA EM SANTA CATARINA

RIO, (Via Vasp) — O «acôrdo» firmado entre o Ministerio da Agricultura e o governo de Santa Catarina, para o desenvolvimento das riquezas agricolas do Estado, foi a pedra angular do auspicioso progresso económico realizado ali nos dois últimos anos. Por intermedio desse «acôrdo» dirigido pela Secção de Fomento Agricola Federal, foram instalados em Santa Catarina 6 campos para multiplicação de sementes, respectivamente, em Tubarão, Lages, S. Pedro de Alcantara, Perdizes, Poço Preto e Canoinhas; 3 campos de cooperação municipaes situados em Joinville, S. Bento e Mafra; 1 campo federal em Cruciano e 3 campos de cooperação com particulares em Caetano de Sousa Graciano Peron e Manuel Prá, municipio de Bom Retiro; 2 escolas elementares, além de varios serviços uteis á agricultura, todos eles em plena atividade construtiva.

Das diversas campanhas encetadas, destaca-se, primeiramente, a do trigo. A intensificação do fomento desse cereal pela multiplicação de sementes selecionadas, foi coroada de exito tragido pela crescente cooperação dos lavradores catarinenses, que aumentaram de 11 mil toneadas a produção triticola para 20 mil da última safra. Nada menos de 62.500 kilos de semente de trigo foram distribuidos gratuitamente pela Secção.

As culturas de cevada e do lupulo, quasi sempre pequenas, tiveram assistencia eficiente, tendo os agricultores registados, recebido mais de 7.500 kilos de semente de cevada e 10mil mudas de lupulo, alem de instrução técnica a respeito. Com o apoio da Secção, a firma Dalvy distribuiu mais de 15.000 kilos de semente de linho na zona nórte do Estado.

O fomento da produção da batatinha, centeio e milho alcançou cifras jamais ali atingidas, tendo a distribuição se elevado, respectivamente a 40 mil kilos, 5.510 e 19.280 kilos fornecidos aos lavradores de varios municipios.

## FIBRAS DE MALVA

RIO, 10 (Via Vasp) — tanto nos mercados internos do país, como nos externos, cresce cada vez mais o interesse em torno das nossas fibras. No Maranhão, por exemplo, tem tido grande desenvolvimento a exploração das fibras de malva, branca e roxa, cujo emprego é indispensavel ao fabrico dos sacos de aniagem.

De acôrdo com as informações chegadas do Ministerio da Agricultura, a extração dessas fibras constitue, atualmente, uma excelente fonte de renda para o povo do interior maranhense, pois se trata de uma planta nativa que que dispensa maiores cuidados, alem do corte e lavagem, e cuja maceração se processa naturalmente.

## Campanha contra a derrubada das matas

RIO, 11 (Via Vasp) — A campanha contra a derrubada de matas vem sendo executada com o maior rigor no Estado do Rio, graças ás constantes recomendações do Interventor Ernani do Amaral Peixoto no sentido da severa repressão das transgressões do Codigo Florestal. As derrubadas só podem ser levadas a efeito mediante licença do Conselho Florestal e debaixo de permanente fiscalização da Delegacia de Ordem Politica e Social, que mantem com aquele orgão estreita colaboração. Em caso de não ser feito o replantio obrigatorio das zonas devastadas, tem lugar uma série de providencias de ordem técnica para o inicio do processo-crime, inclusive pericias e provas fotograficas.

A vigilancia tem dado ótimos resultados, o que levou o Interventor Ernani do Amaral Peixoto a reiterar, agora, as suas anteriores recomendações, afim de que a campanha não sofra interrupção e o Codigo Florestal seja cumprido integralmente no Estado do Rio.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» DA PONEZA

## 百廿五億ドル 米軍需品發注高

「クリーヴランド最同盟」紙は米國陸軍省の軍需品契約事務擔當の要職にあるロバート・マホーニー氏は富地で開催された國防促進會議秘密實踐上、現在政府の軍需品契約高は百二十五億ドルで、今年末には三百億ドルの巨額に達するはずであるが、そのうち僅に三十億ドルが受渡しを完了したのみであると、しかして右百二十五億ドルの內訳は

飛行機二十二億五千万弗、艦船五十億弗、彈藥、工場設備に擴張、被服その他の經費五十二億五千万弗で右五十二億五千万弗中十億弗は三百二の新工場增設に四億弗は現存工場擴張に充てられてゐる

## 世界一を目標 造船の科學研究

### 名物が又一つ增加

海運日本の世界制覇を期するためまづ造船技術を確立させるのが急務であると資金二千万円で造船技術の頭腦本部となる「造船科學研究所」を官民合同事業として近く設立、造船科學研究の一元化をはかる

大阪商船、日本郵船兩社の各二百万円を初め船舶會社百五十社で合計千五百万円三井、三菱、外廿造船社で五百万円、總額二千万円の寄附によつて結成した日本海事振興會が全資金を投出して經營するが、經常費は毎年三百万円を邊信省が支出する

この劃期的研究所の設立を完璧にする準備機關として「船舶科學振興施設調査會」を設けや資東大總長、電光造船社長を顧問に、大阪商船三井、郵船長和辻博士等わが造船界の權威者廿七名を委員とすることになり、それぞれ委員就任の通知を發した、同委員會は東京の造船會館內で第一回委員會を開き造船科學研究所の設立について諮問を答申、適切にするため、調査研究事項の整備と設備計畫を設定する根案を決定することになつたが研究所は東京で約七万坪の敷地を物色建設されることとなつた

## 棉花

一時四十四ミルまで押上げた棉花相場も世界經濟界の陰鬱な壓力に押潰され次第に崩化し週末相場は

| | 買 | 賣 |
|---|---|---|
| 四級 | 四六・〇 | 四七・〇 |
| 五級 | 四一・五 | 四二・五 |
| 六級 | 三九・〇 | 四二・五 |

と各級間に大きな開きを更に擴大して週末を終つた

輸入は船腹乱調にも拘らず旺盛であつて既に今季相五十万俵以上に達してゐるが、此は上値騰を見越しての買急ぎの結果と見るのが至當らしい

又出廻りも旺盛であつて逸に昨年のそれを超過した旺盛振りである、但し亞人筋の觀測では今後急速に出廻り完了すると見透しをつけてゐる

別報通り米國の大規模に亘る資金凍結と日本その他に對しても、道の自由を有せぬ作為不愉快なる事項が山積してゐるため、棉相場の前途觀は愈々暗さが增加するばかりで、各方面から期待されてゐる補助側が實行しそうな速報決を以て暗雲を拂拭されぬ限り、天空快潤の好相場は望む可くも無いようである

農務省は以て輸出棉花用包袋は一年間の猶豫を以て、今後全部綿布使用すべきことが經令された、山積されてゐる下級棉花に一大市場が開拓されたことを意味する

## 珈琲

最低値とクォータ決定の報道に在ることは既報の通りである、これが當久しく廿七ミル台に在つた相場は先週水、木兩日の二段飛びを以つて遂に三十ミルを喰み越え更に週末には更に强調となつた、四級モレノのみは無く同ブーロ、リオ味五級も一齊に騰動し、珈琲は大人氣である、週末申値左の通り

| | |
|---|---|
| 四級モーレ | 二〇、七 |
| 同ブーロ | 二九、二 |
| リオ味五級 | 二四、二 |

右の相場ならば三割五歩のクラ

## 棉花統計

（十三日現在）

| | | |
|---|---|---|
| 格付濟 | 九八〇、一 | 一四二俵 |
| 一八一、一五一、二五七瓩 | | |
| 昨年同期 | 七八六、九五六俵 | |
| 一四六、七〇五、三七五瓩 | | |

## 弗凍結資金 四十億に達す

戰爭のある度毎に米國は獨逸が敗北する毎に米國は獨逸となつて資金の凍結を行ひ只さへ有余る金の退蔵に余念がなく、戰者の物笑の種を撒いてゐる現在歐戰國資金の凍結したものは次の如く巨額に達すし

（二月調べ）

| 國名 | 金額（百万弗） |
|---|---|
| オランダ | 一、六一九 |
| フランス | 五九三 |
| ベルギー | 七六〇 |
| ノルウエー | 一七五 |
| デンマーク | |
| ルーマニア | |
| ルクサンブール | 四八 |
| ポルト三國 | 二九 |

右にはユーゴー、ギーシヤ、ブルガリアが包含されてゐないが總計四十三億六千九百万弗といふ莫大なものである

戰爭の影響下に在る經濟界は不快極まる事象續發であるが先週米十四日米大統領の絕した指令による外國資金凍結强化は、今次大戰發端以來最大且つ最も深刻なるものとして後世史上に特筆さるべきものであらう

要旨は「電報所報の通り」既に久しい以前から凍結を傳へられてゐた獨伊南國及新にアルバニア、オーストリア、チエコ、ポーランド諸國の在米資金の凍結に止まらず、更に此等國算諸國人所有に係る資產の部を米財大藏省の管理下に收め而此を以つて飽き足らず、フインランド、ソビエット聯邦、スペイン、スイス、スエーデン、ポルトガル諸國の資金を嚴重な取締下に置くことを宣言したものである

右を換言すると經濟戰に於ける大陸を敵とし、米國內に於ては經濟活動を窒息せしめんとするものであつて、全世界の資金八割を占有する同國今次の處置は米國の金力を以つて攻側を壓倒する方針とも解せられる

右と同時に米洲諸共和國傳臣で最近戰に活潑に活動しつゝあり、同じく十四ロ、オリア紙所報に據れば米國が參戰するが如き事があつても「交戰國」とは認めない、と謂ふウルグアイの御墨付取り策があり各方面に米國參戰の報道が喪れだした此處當に世界經濟界は一混亂を免れ難い形勢に在る

## 戰時經濟の世界相

### 更に混亂に向つて前進 米國愈々參戰の肚？

オタ賦課があつても納稅者は充分採算が採れると大變悅びである、愈よ翻轉景氣の再來となつた

## 荷動き統計

通關

| | | |
|---|---|---|
| 輸入 | 二二、八九六俵 | |
| 輸出 | 二〇、三五二同 | |
| 在庫 | 一、三四七、〇二二同 | |
| 船積 | 〇俵 | |
| 殺菌 | 三六、三二四同 | |

昨年七月一日よりの輸出總量

九、六四〇、〇五〇俵

此の分で行けば今年輸出總額一千万俵を超えることは略確實で豫想より約百万の輸出增となりそうである